

証券化市場の動向調査

～2010年度の発行動向～

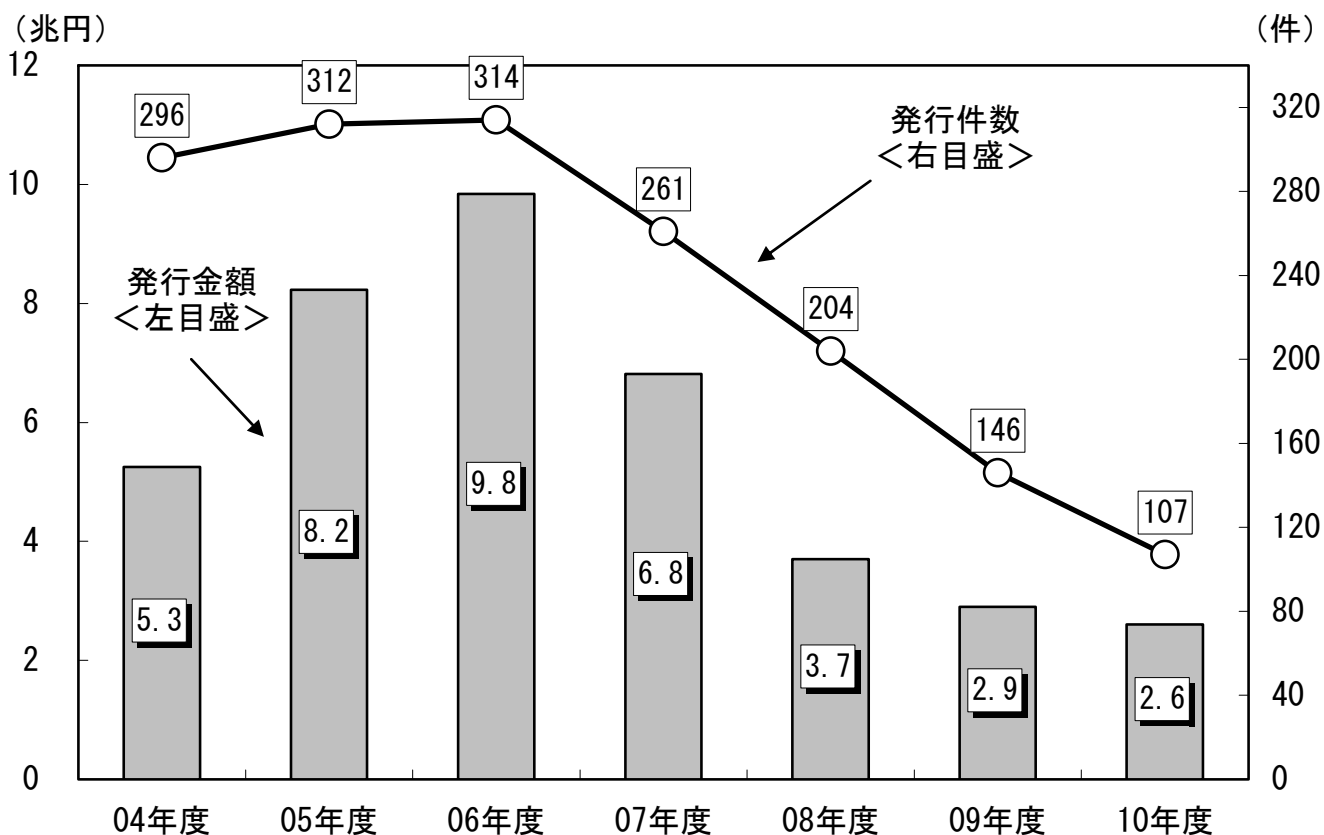
以下は、日本証券業協会及び一般社団法人全国銀行協会が毎月実施している「証券化市場の動向調査」（日本証券業協会ホームページ<<http://www.jsda.or.jp/>>参照）について、2010年度（2010年4月～2011年3月）の結果を取り纏めたものです。

図表データについては、別紙をご参照ください。また、参考として、『証券化市場の動向調査』における項目毎の記載割合」を取り纏めています。

1. 証券化商品全体の発行動向

2010年度における証券化商品の発行動向をみると、金額、件数ともに、前年度を下回り、調査開始（2004年度）以来、最小となった（金額2兆6,040億円<前年度比▲10%>、件数107件<同▲27%>）（図表1）。

（図表1）証券化商品の発行金額・件数



（参考）普通社債の発行金額

（単位：兆円<2010年度分は暫定数値>）

2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
5.9	6.9	6.8	9.4	9.6	10.3	9.9

2. 裏付資産別の発行動向

2010年度における証券化商品の発行金額（合計2兆6,040億円＜前年度比▲10%＞）を「裏付資産」別にみると、「売掛金・商業手形」（434億円＜同+44%＞）及び「その他」（1,200億円＜同+17%＞）が増加したものの、「RMBS」（1兆9,474億円＜同▲1%＞）が、民間発行分が減少する中で、住宅金融支援機構発行分が増加し、全体では微減となったほか、「ショッピング・クレジット」（2,781億円＜同▲9%＞）と「CDO」（351億円＜同▲5%＞）も、前年度を下回り、「リース」（430億円＜同▲76%＞）、「CMBS」（550億円＜同▲58%＞）及び「消費者ローン」（820億円＜同▲46%＞）については大幅に減少した（図表2）。

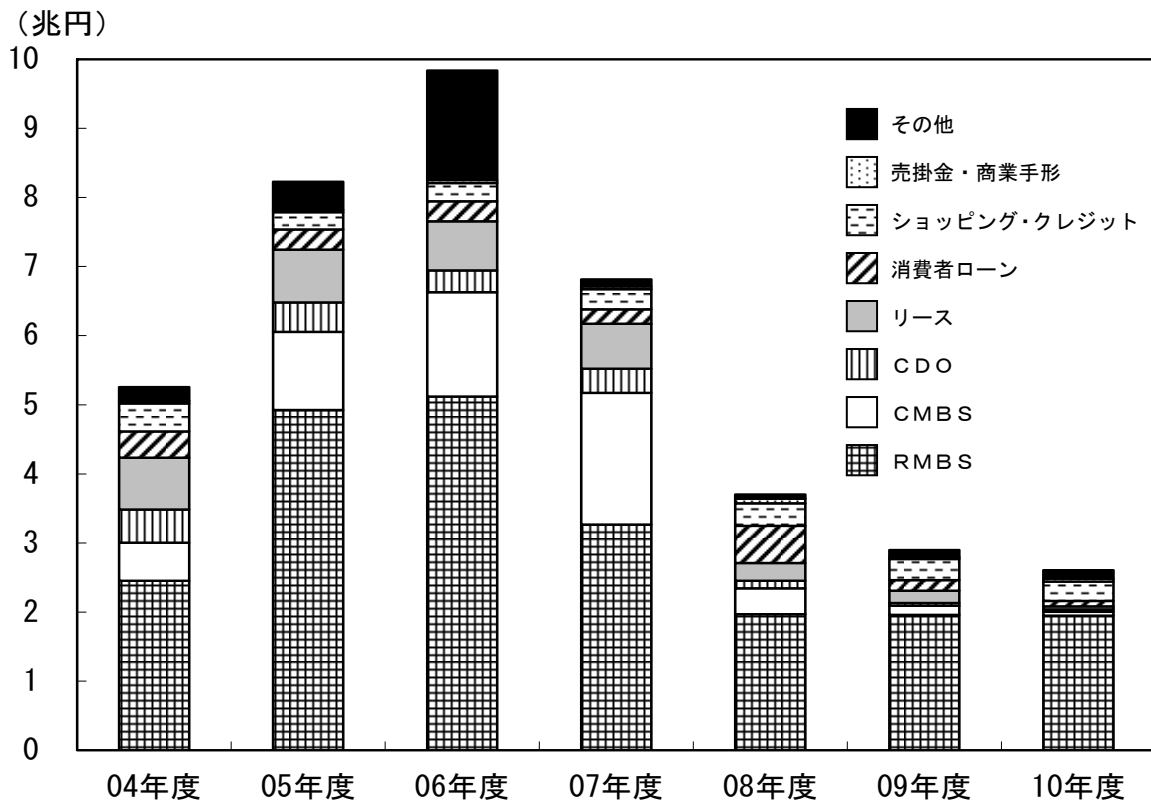
以上の結果、発行金額（合計2兆6,040億円）の「裏付資産」別の構成比は、下表のとおりとなり、「RMBS」が75%と、調査開始以来、最も高い水準となった。

発行金額の「裏付資産」別の構成比

（単位：%、括弧内は前年度）

RMBS	CMBS	CDO	リース	消費者ローン	ショッピング・クレジット	売掛金・商業手形	その他
75	2	1	2	3	11	2	5
(68)	(5)	(1)	(6)	(5)	(11)	(1)	(4)

（図表2）証券化商品の「裏付資産」別発行金額



（参考）裏付資産の具体的な分類は、以下のとおり。

「RMBS (Residential Mortgage Backed Securities)」：住宅ローン債権、アパートローン債権

「CMBS (Commercial Mortgage Backed Securities)」：商業用不動産担保ローン債権、商業用不動産

「CDO (Collateralized Debt Obligations)」：企業向け貸付債権、社債、CDS等

「リース」：リース料債権

「消費者ローン」：消費者ローン債権、カードローン債権

「ショッピング・クレジット」：ショッピング・クレジット債権、オートローン債権

「売掛金・商業手形」：売掛債権、手形債権

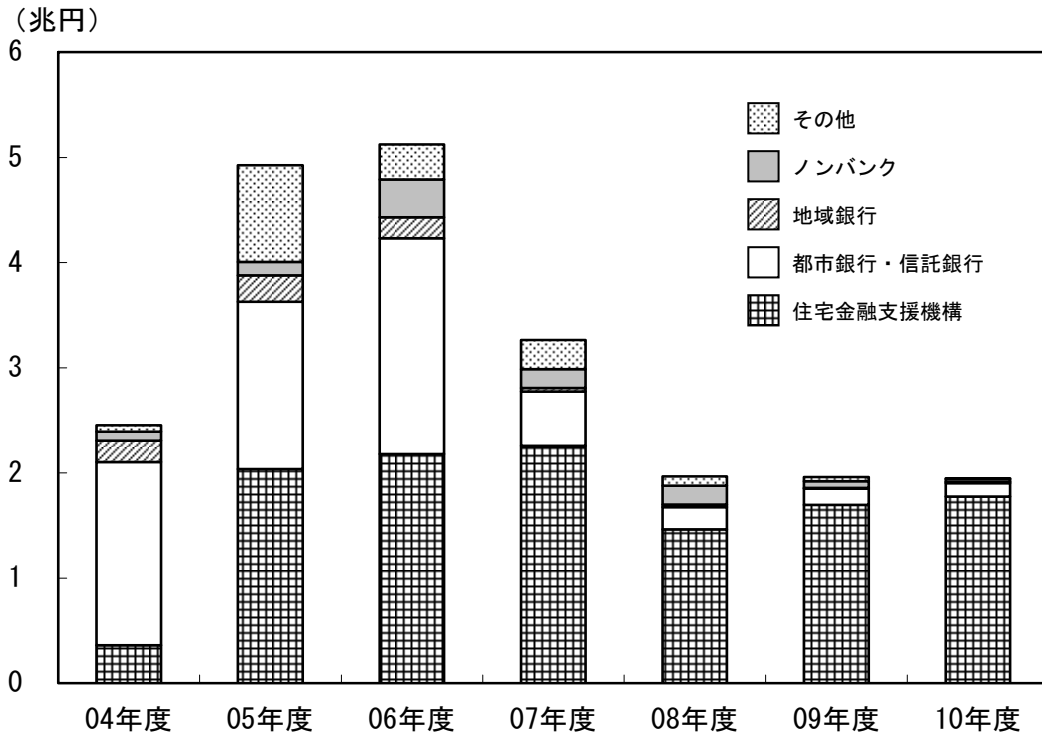
「その他」：事業キャッシュフロー、診療報酬債権、基金債権等

2. - (1) RMBSの発行動向

①オリジネーター別

RMBSの発行金額（1兆9,474億円）を「オリジネーター」別にみると、「住宅金融支援機構」が91%（1兆7,741億円）を占めた（図表3）。

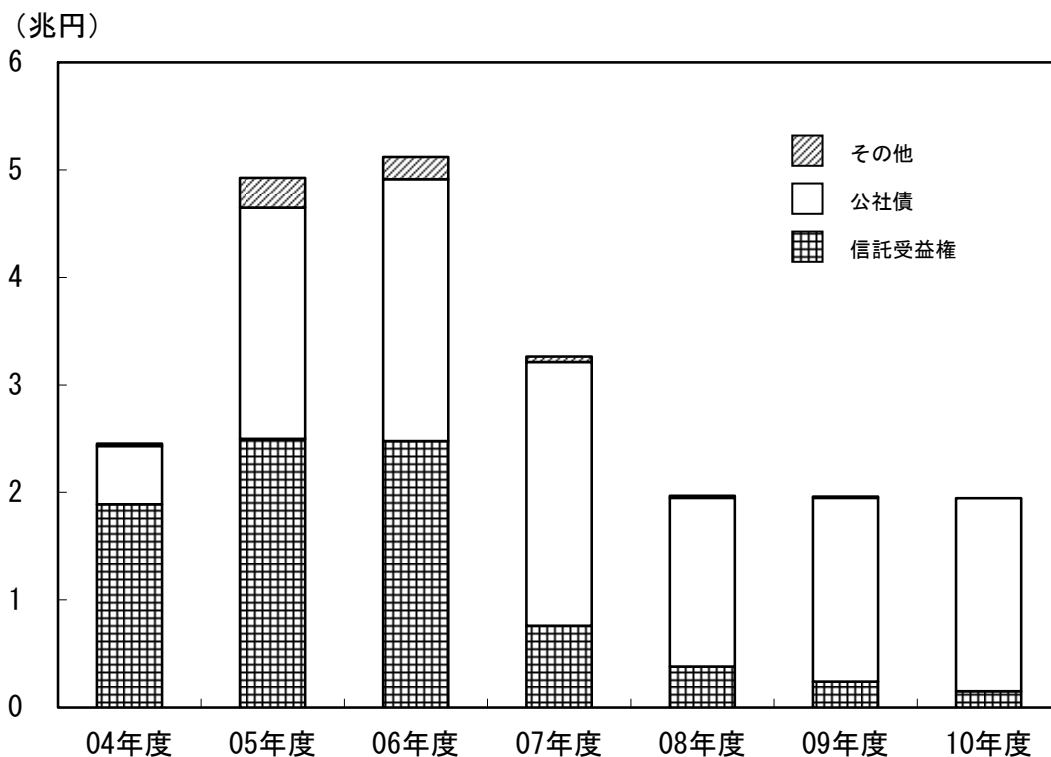
（図表3）RMBSの「オリジネーター」別発行金額



②発行形式別

RMBSの発行金額（1兆9,474億円）を「発行形式」別にみると、「公社債」が92%（1兆7,971億円）を占めた（図表4）。

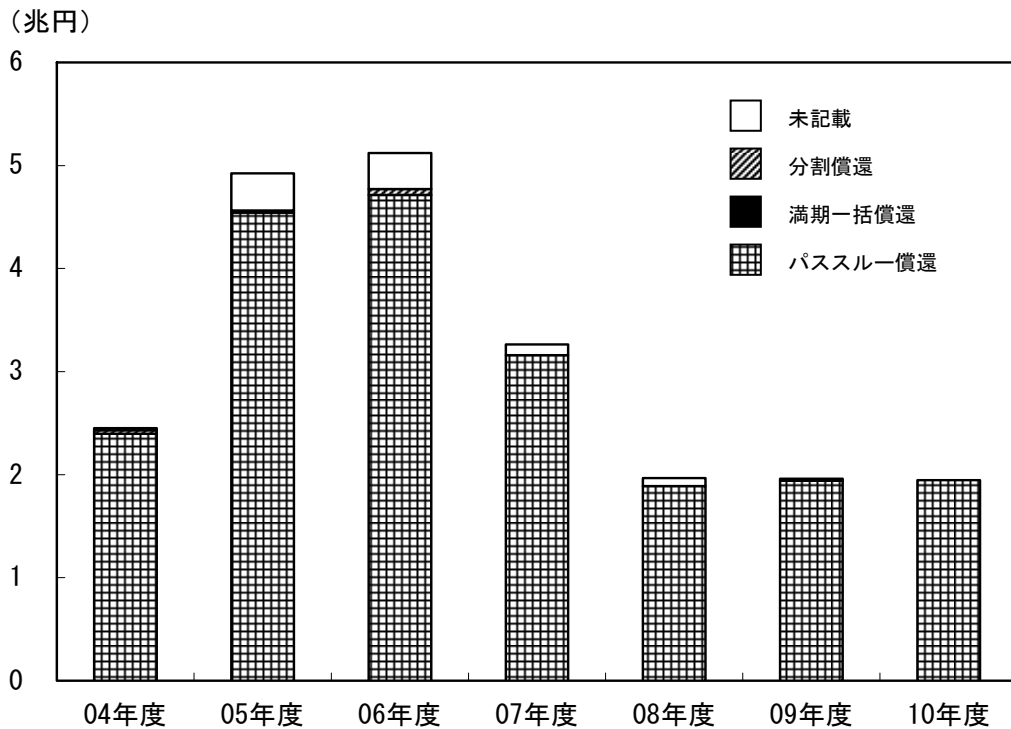
（図表4）RMBSの「発行形式」別発行金額



③償還方法別

RMBSの発行金額（1兆9,474億円）を「償還方法」別にみると、すべてが「パススルー償還」であった（図表5）。

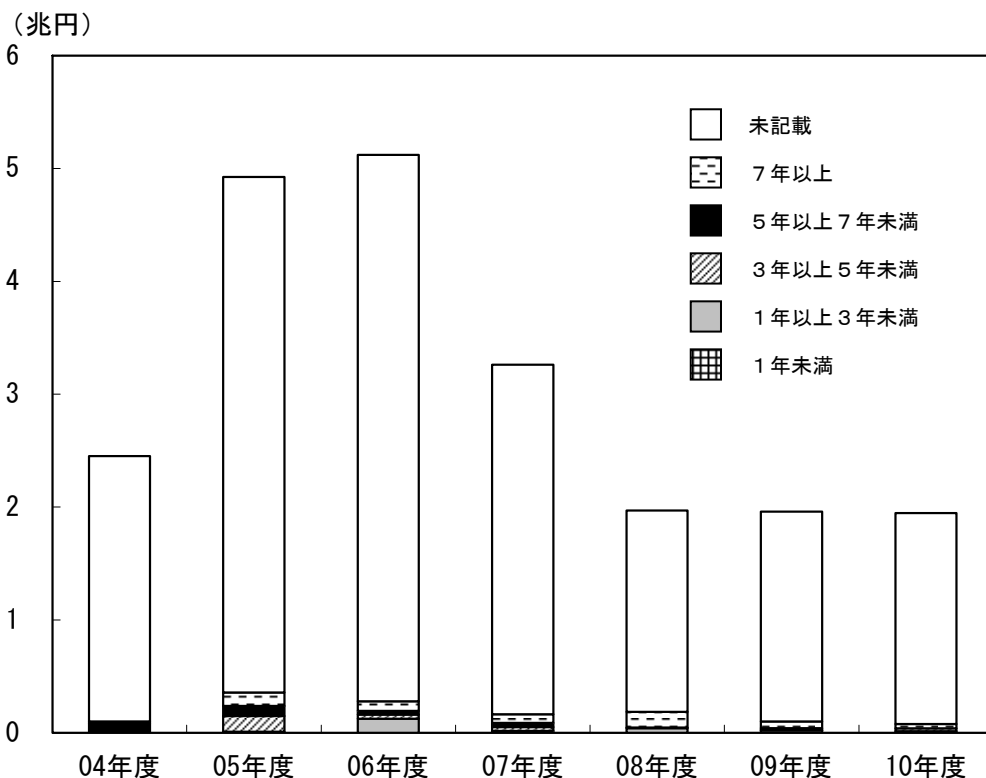
（図表5）RMBSの「償還方法」別発行金額



④予定／平均年限別

RMBSの発行金額（1兆9,474億円）を「予定／平均年限」別にみると、「未記載」が96%（1兆8,685億円）を占めたが、記載のある中では、「7年以上」（401億円）が最も多く、次いで「3年以上5年未満」（246億円）が多かった。（図表6）。

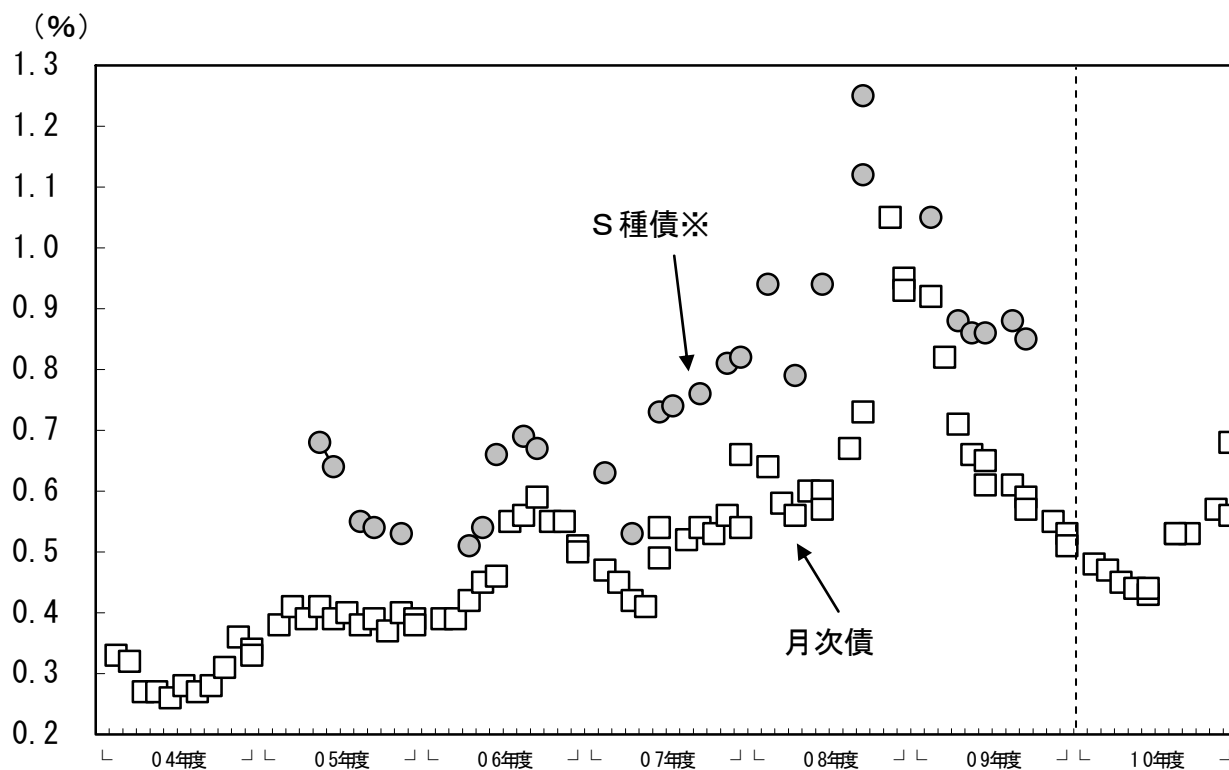
（図表6）RMBSの「予定／平均年限」別発行金額



⑤発行時のスプレッド

住宅金融支援機構RMB Sのローンチスプレッド（表面利率と条件決定時の国債利回りとの差）をみると、2010年度においては、月次債のスプレッドが9月発行分まで縮小を続け、11月発行分以降は拡大した（図表7）。

（図表7）住宅金融支援機構RMB Sのローンチスプレッド



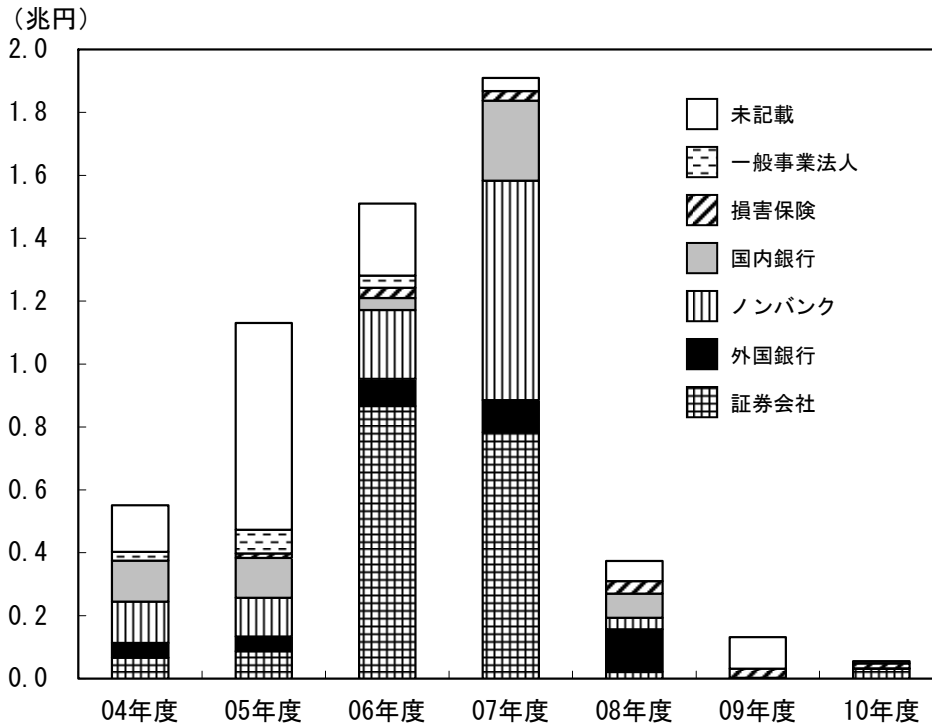
※ S種債（旧住宅金融公庫が過去に直接実行した住宅ローンを証券化したもの。）は2009年12月を最後に、発行されていない。

2. - (2) CMBSの発行動向

①オリジネーター別

CMBSの発行金額（550億円）を「オリジネーター」別にみると、「証券会社」が57%（314億円）を占め、次いで「損害保険」が28%（155億円）を占めた（図表8）。

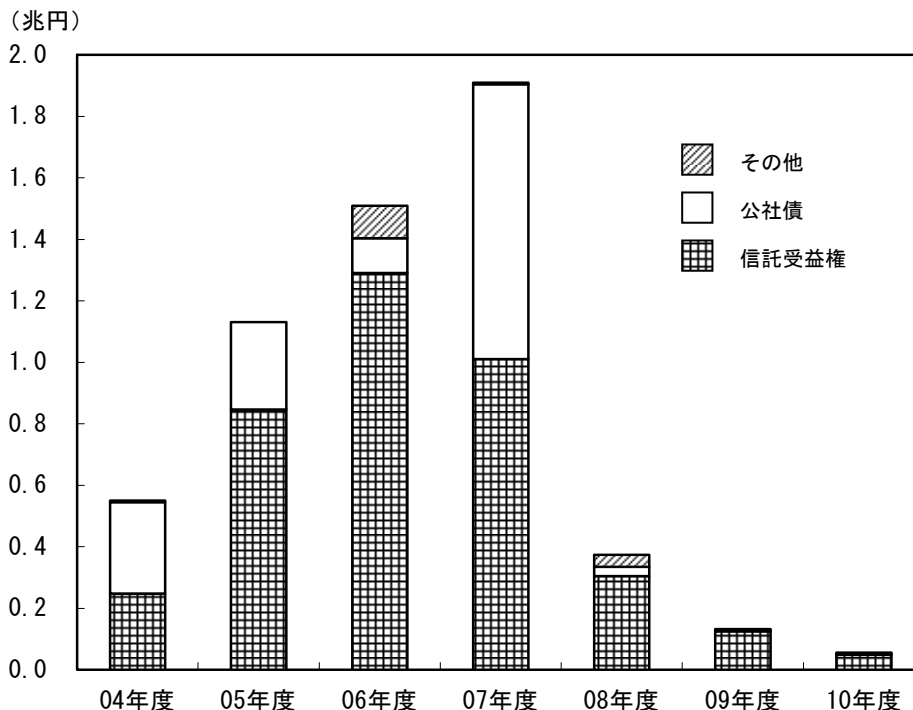
（図表8）CMBSの「オリジネーター」別発行金額



②発行形式別

CMBSの発行金額（550億円）を「発行形式」別にみると、「信託受益権」が88%（484億円）を占めた（図表9）。

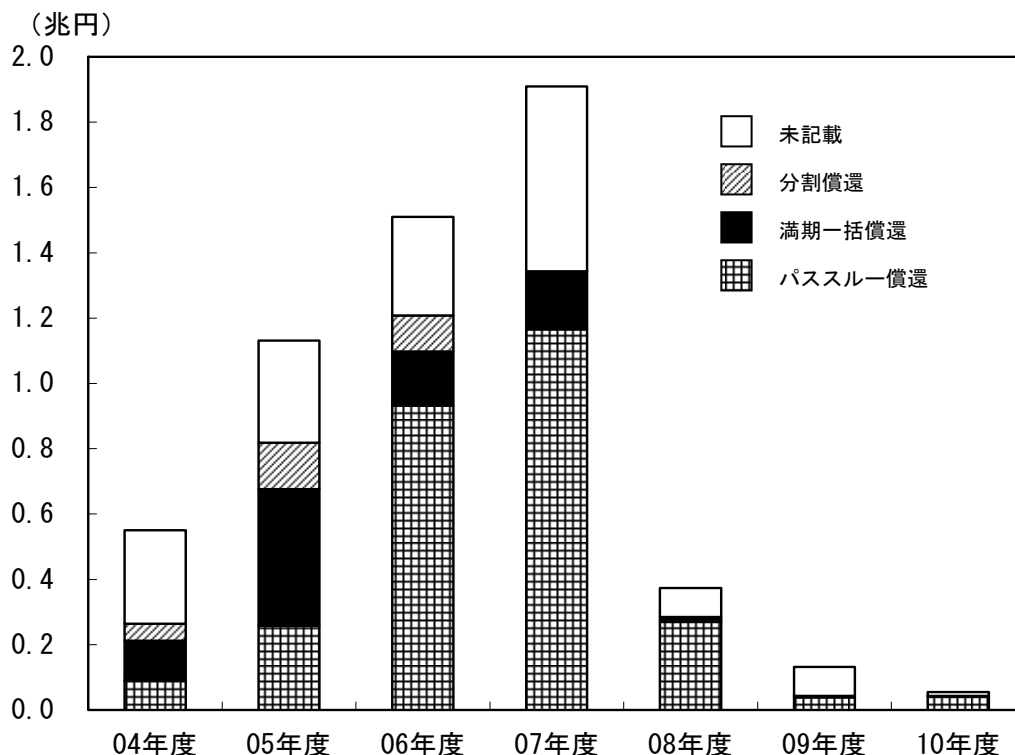
（図表9）CMBSの「発行形式」別発行金額



③償還方法別

CMBSの発行金額（550億円）を「償還方法」別にみると、「パススルー償還」が75%（415億円）、「未記載」が22%（121億円）であった（図表10）。

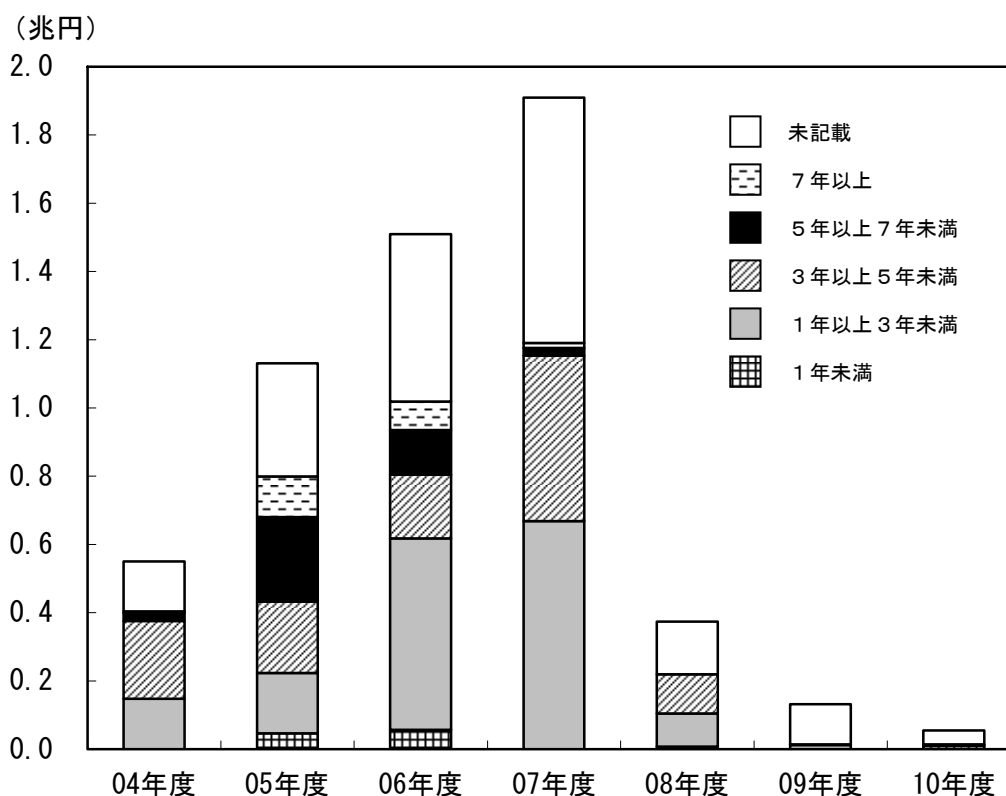
（図表10）CMBSの「償還方法」別発行金額



④予定／平均年限別

CMBSの発行金額（550億円）を「予定／平均年限」別にみると、「未記載」が75%（413億円）を占めたが、記載のある中では、「3年以上5年未満」が95億円、「5年以上7年未満」が43億円、「7年以上」が9億円であった（図表11）。

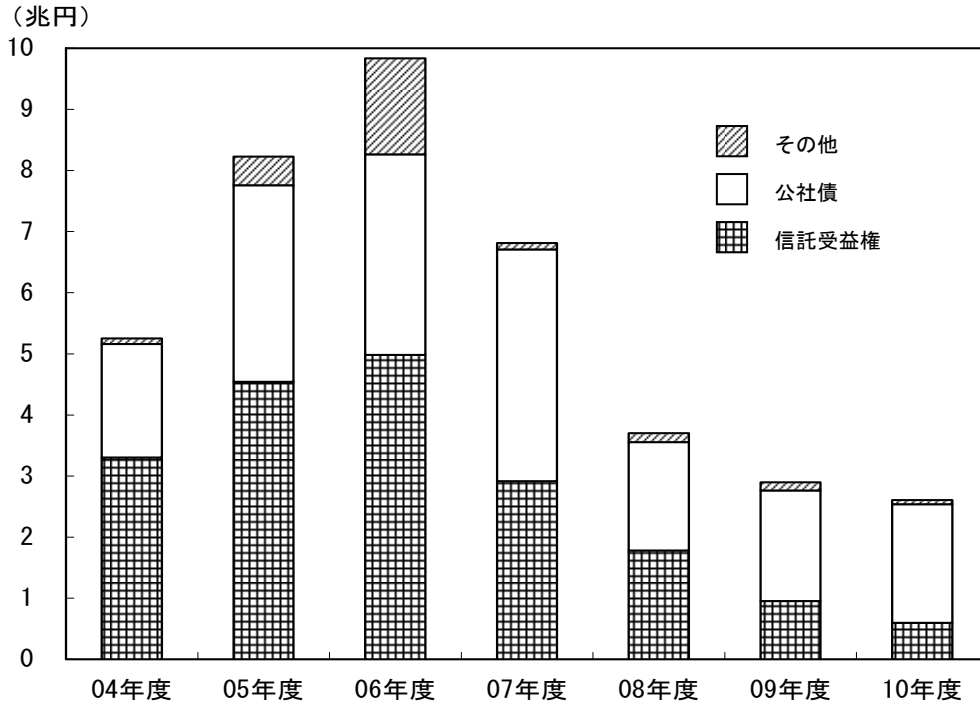
（図表11）CMBSの「予定／平均年限」別発行金額



3. 発行形式別の発行動向

2010年度における証券化商品の発行金額（2兆6,040億円）を「発行形式」別にみると、「公社債」が75%（1兆9,424億円）を占め、次いで「信託受益権」が23%（5,983億円）を占めた（図表12）。

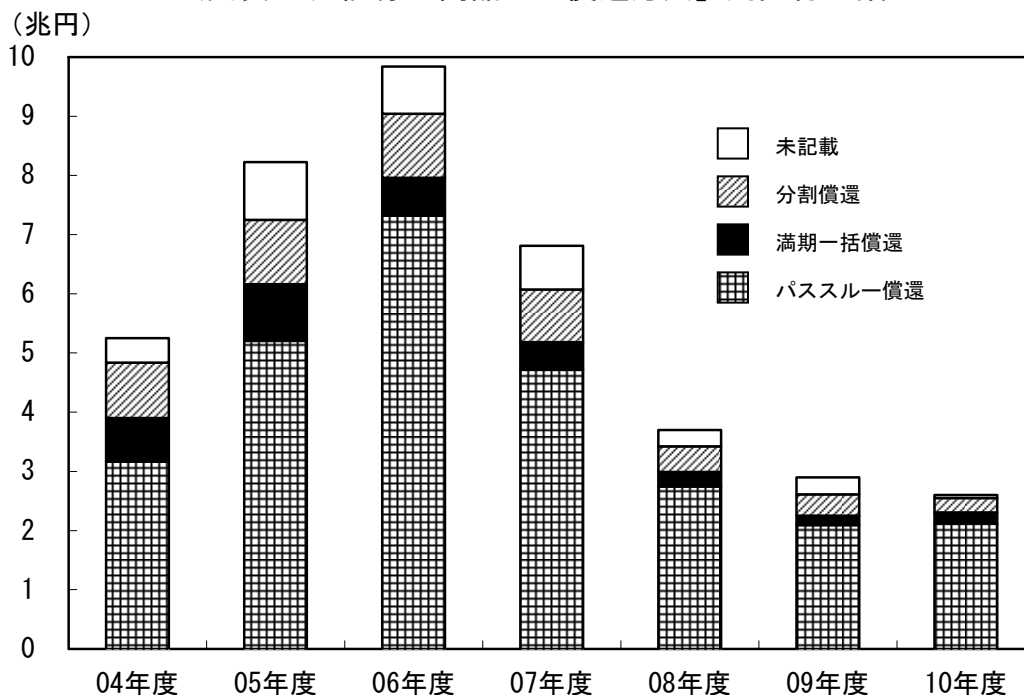
（図表12）証券化商品の「発行形式」別発行金額



4. 償還方法別の発行動向

2010年度における証券化商品の発行金額（2兆6,040億円）を「償還方法」別にみると、「パススルー償還」が81%（2兆1,158億円）を占めた（図表13）。

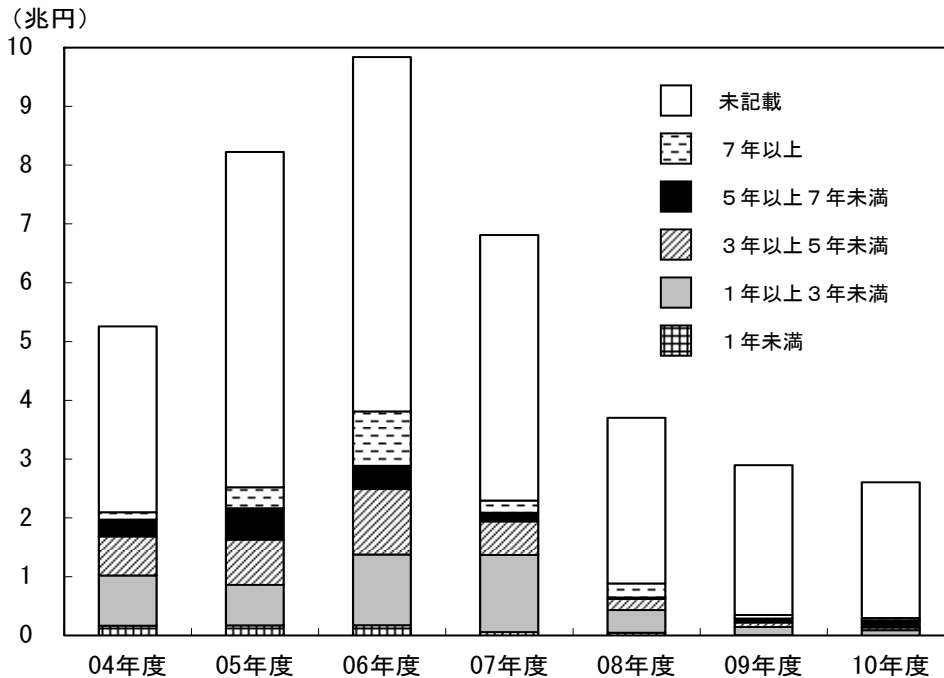
（図表13）証券化商品の「償還方法」別発行金額



5. 予定／平均年限別の発行動向

2010年度における証券化商品の発行金額（2兆6,040億円）を「予定／平均年限」別にみると、「未記載」が89%（2兆3,062億円）を占めたが、記載のある中では、「5年以上7年未満」（1,243億円）が最も多く、次いで「1年以上3年未満」（874億円）が多かった（図表14）。

（図表14）証券化商品の「予定／平均年限」別発行金額



6. 格付別の発行動向

2010年度における証券化商品の発行金額（2兆6,040億円）を「格付」別にみると、「AAA」が91%（2兆3,765億円）を占めた（図表15）。

（図表15）証券化商品の「格付」別発行金額

